

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスきらきら				公表日	2026年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	玩具のテントを2つ用意し、クーラダウン出来るスペースを作っている。	運動が好きな利用者様が多い時は、もっとスペースがあれば感じる事がある。 部屋数が少ない分、1人になれる場所が少ない。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	1対1で支援が必要な利用者様も数名居るが、勤務の調整により適切な配置人数になるよう工夫している。 少ない人数でも工夫して行っている。	もっとスタッフが居たらと思う事がある。 突然的な体調不良等による欠員の際に職員が不足してしまう。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	絵カードを使用する等工夫している。 リラックスルームの整備等。 限られたスペースを有効に使い、環境整備をしながら支援している。	トイレに段差があるので、バリアフリー化は出来ていない。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	大きく体を動かせる広い部屋と、落ち着いて静かに過ごせる広くない部屋があり、使い分ける事が出来ている。	工夫はしているが個室は難しい。 活動で使用した道具が置いたままになっている事がある。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	用途によって使い分けしている。	別室に移動したりテントに避難したりする事は出来るが、児童だけで利用できる個別の部屋はない。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎朝の朝礼時に振り返り等行っている。 朝礼と昼礼時に申し送りがある。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	話し合いを行っている。 その都度共有し、話し合いを行っている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		外部評価を行っていない。 第三者評価は行っていない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	個人で研修を受けた場合も内容を共有している。 内外部の研修に参加される方が多い。 職種別に社内研修が行われている。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		ホームページに公表している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		その都度行っている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ミーティング、カンファレンスも丁寧に行っている。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		全部行っているわけではないが意識はしている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		ツールは使えていないが、事象の共有は行っている。 行動観察に寄り気味である。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	記載している。	「地域支援・地域連携」は行っているが、その項目について計画に記載が出来ていない。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	アドバイスをもらいながら行っていると思う。 1人のスタッフだけでなく、様々なスタッフが関わって作成している。			

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	ミーティング、カンファレンスを丁寧に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	翌日朝礼にて実施。 その日ではないが、翌日には振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	更新のタイミングで行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	できる部分、できそうな部分は促し、難しい所は介助やアドバイスを行っている。 いくつかの選択肢を提案し、制作を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本的に児発管。その他児童指導員等も参加する事がある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	ドクターとのやり取りは保護者様が行い、その内容をおろしてもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	下校時や、必要に応じて担当者会議でお聞きしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	紙ベースでの共有が主である。 園での様子は文書や保護者様からお聞きしていた。 保護者からの情報共有は密に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	研修等。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	3	お祭り等を通して行っている。 子どもたち同士の関わりはなかったが、町の児童センターの方々とお話しする機会があった。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	伝えるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	数年ぶりに保護者会を実施した。	必要だと思うができない。
支援者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時や更新時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画を作る際、保護者様に聞くようにしておらず、その都度共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	管理者を通して行っている。 十分であるか疑問だが、慎重かつ丁寧に対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	行う予定になっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	その都度行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	お便りを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	電話やLINE等のツールを使い分けていると思う。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	作品展を開催し、地域の方にも見て頂いている。 ドリームまつり等、紹介させて貰っている。 ドリームまつりや作品展等を行い、地域の方とも繋がろうと努めている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	イベントを通して行ったり、備蓄品を置いている。 定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者様に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		